

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 2 部門第 4 区分  
 【発行日】平成 19 年 5 月 17 日 (2007.5.17)

【公開番号】特開 2005-305877 (P2005-305877A)  
 【公開日】平成 17 年 11 月 4 日 (2005.11.4)  
 【年通号数】公開・登録公報 2005-043  
 【出願番号】特願 2004-127262 (P2004-127262)  
 【国際特許分類】

**B 3 2 B 27/04 (2006.01)**

**B 3 2 B 27/20 (2006.01)**

**G 0 2 F 1/1333 (2006.01)**

【F I】

B 3 2 B 27/04 Z

B 3 2 B 27/20 Z

G 0 2 F 1/1333 5 0 0

【手続補正書】  
 【提出日】平成 19 年 3 月 26 日 (2007.3.26)  
 【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

繊維布と硬化性樹脂からなるベース基板と、ベース基板の少なくとも片面側に無機充填材を含む硬化性樹脂層を持ち、更にその外側に無機充填材を含まない硬化性樹脂層を有する最大表面粗さが 200 nm 以下の複合シート。

【請求項 2】

無機充填材を含む硬化性樹脂層の表面凹凸ピッチが 100 μm 以下である請求項 1 記載の複合シート。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

すなわち本発明は、

(1) 繊維布と硬化性樹脂からなるベース基板と、ベース基板の少なくとも片面側に無機充填材を含む硬化性樹脂層を持ち、更にその外側に無機充填材を含まない硬化性樹脂層を有する最大表面粗さが 200 nm 以下である複合シート、

(2) 無機充填材を含む硬化性樹脂層の表面凹凸ピッチが 100 μm 以下である (1) の複合シート、  
 である。